

底堅い動きを見せるヘルスケアセクター

インフラ関連グローバル株式ファンド 愛称 にいがたインフラサポート
追加型投信／内外／株式

2022年8月4日

- 「インフラ関連グローバル株式ファンド(愛称 にいがたインフラサポート)」は、【防災・減災】【環境】【医療】【デジタル】に関するインフラ関連株に投資を行っています。
- 本レポートでは、【医療】インフラ関連株のうち、医薬品や医療機器などが分類されるヘルスケアセクターの投資環境と、大手製薬会社のファイザー(米国)についてお伝えします。

ヘルスケアセクターの投資環境

調整局面で堅調な動きを見せる"ディフェンシブセクター"

図表1は、MSCIヘルスケア指数(以下、ヘルスケア指数)とMSCIワールド指数(以下、ワールド指数)の推移です。医薬品や医療機器分野などの先進国企業で構成されるヘルスケア指数は、ヘルスケア企業への高いニーズや新薬開発への期待を背景に、長期でワールド指数を上回る良好なパフォーマンスとなっています。

また、ヘルスケアセクターは、業績が景気動向に左右されにくく、株式市場全体が調整局面でも比較的底堅い動きをする特徴があり、英語で"防衛"や"守り"を意味する"ディフェンシブ"セクターといわれています。今年年初(赤枠で囲っている部分)からの下落局面でもワールド指数の騰落率を約6.8%上回っています。

図表1 ヘルスケア指数と世界株価指数の推移

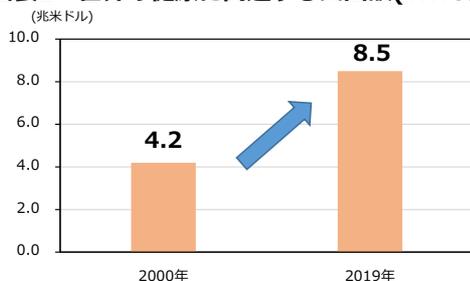


(出所) Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成、いずれも米ドルベース
(注) 2012年1月2日を10,000として指数化
(注) MSCIの指数は、MSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。

成長を支えるニーズ『需要面』

図表2は世界の健康に関連する支出の動向です。世界的な高齢化や新興国のGDP拡大に伴い、大きく拡大しています。2000年からの20年間で約2倍の伸びを記録し、GDP対比で約9.8%(2019年)の規模に成長しています。

図表2 世界の健康に関連する支出額(WHO発表)

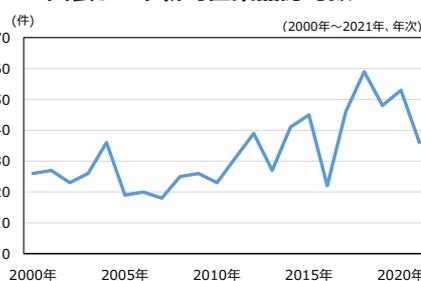


(出所) WHO資料より岡三アセットマネジメント作成

ニーズに対応する研究開発力『供給面』

米国食品医薬品局(FDA)は、こうしたニーズに対応するため、医薬品企業の研究開発を支援する仕組みを設けています。FDAの「革新的治療薬指定制度」は医薬品等の上市までの期間を短縮し早期の収益化が可能となるため、医薬品企業の研究開発を加速させる要素の一つとなっています。(図表3)

図表3 革新的医薬品認可数*



*FDAによる革新的治療薬指定(Breakthrough Therapy Designation)制度に基づく
(出所) Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

インフラ関連グローバル株式ファンド 愛称 にいがたインフラサポート
追加型投信／内外／株式

【銘柄紹介】 売上高世界ナンバーワン(2021年度)の製薬会社*

*医療用医薬品売上高(米ドルベース)。812億8800万ドル(約10.9兆円、1米ドル133.5円で換算)。

ファイザー (米国)

- 【事業】 医薬品世界最大手。循環器、中枢神経、鎮痛・抗炎症系など幅広い分野で新薬を開発
- 【事業詳細】 独ビオンテック社と共同開発したメッセンジャーRNA(以下、mRNA)ワクチンが新型コロナウイルスのワクチンとして多くの国々へ提供される
- 【投資の魅力】 積極的な研究開発に支えられた新薬開発力で、今後とも新型コロナウイルス関連以外の分野でも成長が期待できる

➤ 新テクノロジーを通じた新薬開発に注力

潤沢な研究開発費が新薬誕生を支える

ファイザーは、将来の収益の源泉となる新薬開発を最重要視しており、次の新薬開発のために、優秀な人材を揃え、多くの資金を研究開発費(図表4)として振り分けます。
また、収益化が成功した事業などをスピノフ※(分離・独立)することで事業の「選択と集中」を行い、社内の新陳代謝を促し、経営を効率的なものとしています。

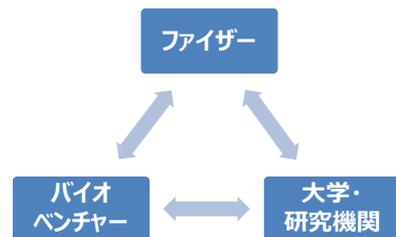
※主なスピノフ

- 2013年…動物用ヘルス部門を「ゾエティス」として新規株式公開
- 2020年…後発医薬品部門「ヴィアトリス」として分社化

研究開発を支える提携システム

図表5は、ファイザーの研究開発の提携イメージ図です。研究開発をバイオベンチャーや大学・研究機関と提携することで新薬開発などの新テクノロジーを生み出す戦略を採用しています。
新型コロナウイルスワクチンは、独ビオンテック社とのmRNA技術に関する提携(2018年提携)から生み出されたプロダクトの一つです。

図表5 研究開発の提携イメージ図

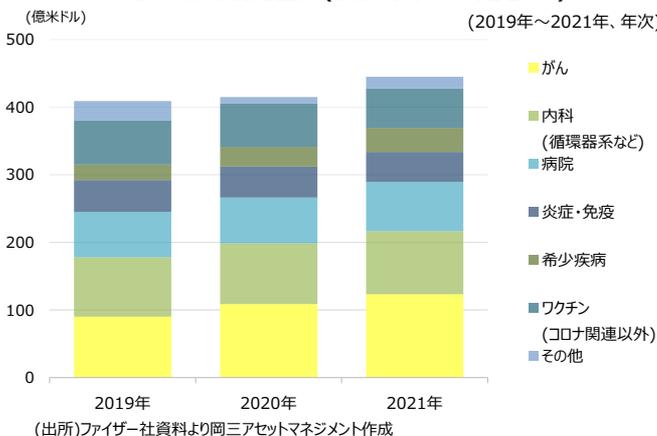


図表4 研究開発費推移



➤ 積極的な研究開発が多角的な部門成長に貢献

図表6 部門別売上高(コロナウイルス関連を除く)



➤ 堅調な株価推移

図表7 ファイザー社の株価推移



＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

**インフラ関連グローバル株式ファンド 愛称 にいがたインフラサポート
追加型投信／内外／株式**
豊かな未来へと導く4つのインフラ

防災・減災インフラ

- 災害に強いインフラ強靱化は世界共通の課題
- ✓ 地形・耐久性調査 ✓ 災害予測
- ✓ 耐久性強化工事技術 ✓ 被災地復旧工事技術

具体例事業

- ・ エンジニアリング
- ・ 補修・復旧機器・サービス
- ・ ソフトウェア・システム
- ・ ドローン・救助用ヘリ


環境インフラ

- 脱炭素化で地球温暖化を防ぐ技術開発が急務
- ✓ 炭素排出量削減技術 ✓ 省エネ技術
- ✓ 新エネルギー技術

具体例事業

- ・ EV(電気自動車)
- ・ 風力・太陽光等のクリーンエネルギー
- ・ 環境コンサルティングサービス


医療インフラ

- 医療技術の進歩が医療インフラの成長を加速させる
- ✓ 医療のデジタル化(遠隔医療、ビッグデータ活用)
- ✓ 免疫細胞技術・mRNAなどの新技術応用の新薬開発
- ✓ 手術用ロボットなどのテクノロジー

具体例事業

- ・ 病院などの医療施設・機関
- ・ 医薬品
- ・ 医療機器・器具
- ・ 医療コンサルティングサービス


デジタルインフラ

- 5G技術などの発展により、デジタルインフラへの投資が年々拡大
- ✓ 大容量高速通信技術 ✓ 5G
- ✓ DX(デジタルトランスフォーメーション) ✓ 新技術(メタバース、決済等)

具体例事業

- ・ 半導体
- ・ 通信
- ・ データセンター
- ・ サイバーセキュリティ

※各テーマの事業例は参考であり、今後変更になる場合があります。

今後の運用方針

当面の世界の株式市場は、世界の物価動向と金融政策、景況感の行方によって大きく変動する展開と予想します。長期的には収益拡大が見込まれる銘柄がけん引する形で堅調に推移するとみていますが、世界的な物価上昇トレンドや景況感悪化懸念が継続しており、経済指標等で想定以上の悪化が示された場合、金融政策は不透明なものとなり株式市場も変動性の大きな展開となる可能性が排除できないと考えるためです。

そのような中、基本姿勢としてセクターやマーケット動向を勘案して組入銘柄や組入比率を決定し、4テーマを偏らせず、各25(±5)%程度となるよう調整を行う考えです。4テーマは、それぞれが次世代インフラの加速する成長を享受できるテーマと考えており、概ね均等の組入比率で保有することで幅広い収益獲得機会を得られると考えているためです。以下はテーマ別の注目ポイントです。

【防災・減災】では、先進国を中心に社会インフラの老朽化対策やメンテナンスニーズが拡大していることから、社会インフラ強靱化を可能とする技術を持つ企業に注目しています。【環境】では、各国のエネルギー・環境政策の恩恵を受けると考えられる太陽光や風力発電に関連する企業、また電気自動車(EV)関連企業に注目しています。【医療】では、がんや生活習慣病などの幅広い分野での新薬の開発が見込まれる医薬品企業に注目しています。【デジタル】では、半導体産業や5G関連企業などの高度な技術力を保有し、国際競争力の高い企業に注目しています。

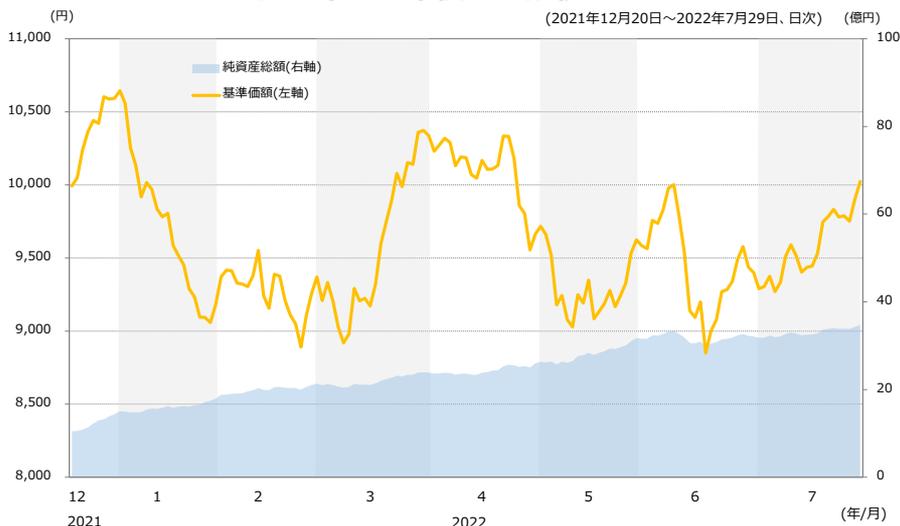
<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

インフラ関連グローバル株式ファンド 愛称 にいがたインフラサポート
 追加型投信／内外／株式

基準価額と純資産総額の推移

設定来の基準価額の推移



ファンドデータ (2022年7月29日現在)

基準価額	10,024円
純資産総額	34.74億円

※ 上記のグラフの基準価額は1万円当たり、信託報酬控除後です。
 ※ グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

ポートフォリオ情報

組入上位10銘柄 (2022年7月29日現在)

順位	銘柄名	テーマ	国・地域	組入比率
1	エンフェーズ・エナジー	環境インフラ	米国	3.08%
2	マイクロソフト	デジタルインフラ	米国	3.00%
3	アップル	医療インフラ	米国	2.80%
4	ジェイコブズ・エンジニアリング・グループ	防災・減災インフラ	米国	2.21%
5	日立製作所	防災・減災インフラ	日本	2.12%
6	テスラ	環境インフラ	米国	2.12%
7	ヴェスタス・ウィンド・システムズ	環境インフラ	デンマーク	2.08%
8	HCAヘルスケア	医療インフラ	米国	2.03%
9	パロアルトネットワークス	デジタルインフラ	米国	2.00%
10	アメリカン・タワー	デジタルインフラ	米国	1.98%

※ 上記テーマ分類は、当社独自の考え方により銘柄を分類しているものです。
 組入比率は、純資産総額に対する比率です。

(作成：運用本部)

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

**インフラ関連グローバル株式ファンド 愛称 にいがたインフラサポート
追加型投信／内外／株式**
インフラ関連グローバル株式ファンドに関する留意事項
【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内外の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」があります。その他の変動要因としては「流動性リスク」があります。

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込みの受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- 取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消すことがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
 - 購入時手数料：購入金額（購入価額×購入口数）×上限3.3%（税抜3.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
 - 換金手数料：ありません。
 - 信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
 - 運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.705%（税抜1.55%）
- その他費用・手数料
 - 監査費用：純資産総額×年率0.0132%（税抜0.012%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を信託財産でご負担いただけます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）

- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			

<本資料に関するお問合わせ先>

フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)